

秋水産物輸出協議会

■取組の背景

- 秋市広域エリアで漁獲される水産物は、販売・流通ルートが限定的であり、それに伴い生産者が減少していた。
- 一方で、国の方針として、関係者間の連携により競争力のある水産物の輸出体制整備が求められている。

■取組の目的

- 秋市広域エリアの漁獲物を用いた加工製品の企画・製造
- IT技術・AIを活用した作業効率化とコスト削減
- 越境ECによる水産物の輸出展開

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
事業実施者	生産	山口県漁業協同組合はぎ統括支所	・加工品原料の生産
	流通輸出	株式会社JTB総合研究所	・商品企画 ・関係各所の協力体制構築
	加工流通	株式会社広松	・加工製品の試作・製造
	流通	日本郵便株式会社秋越ヶ浜郵便局	・日本国内におけるカタログ販売等の提案 ・越境ECの実施に関する支援
オブザーバー		山口県秋市農林水産部水産課	・協議会への参画

■取組内容

生産

◆輸出に向けた新商品の企画・開発

- ✓ 関係者間での連携➡生産者、加工・流通業者と輸出関係業者が協力し、原料の確保から輸出手続きまでを一貫して実施できる体制を構築
- ✓ 輸出先のニーズに合わせた新商品の企画・検討➡早いサイクルで新商品の企画・開発を実施し、マーケット調査・分析に基づいたターゲット層に合致する商品を選択
- ✓ 先端技術の導入➡日本が持つ先端技術である3Dフリーザー（冷凍技術）や水溫熟成機等を活用し、**新商品開発を実施**

加工・流通

◆IT技術・AIを活用した効率化とコスト削減

- ✓ システムの導入による事務手続きの効率化➡海外輸出の受発注手続きをシステムによって簡素化し、**事務手続きに係る負担を軽減**するとともに、人的コストを削減
- ✓ AIチャットボットシステムの導入検討➡海外顧客からの問い合わせに対し、自動的に回答・返信が可能な**A Iチャットボットシステムの導入を検討**
- ✓ 事務作業の簡略化と省人化によるコスト削減➡システムの導入により、事務作業の簡略化および作業効率の向上、省人化を実現し、人件費をはじめとする**コスト削減を実現**

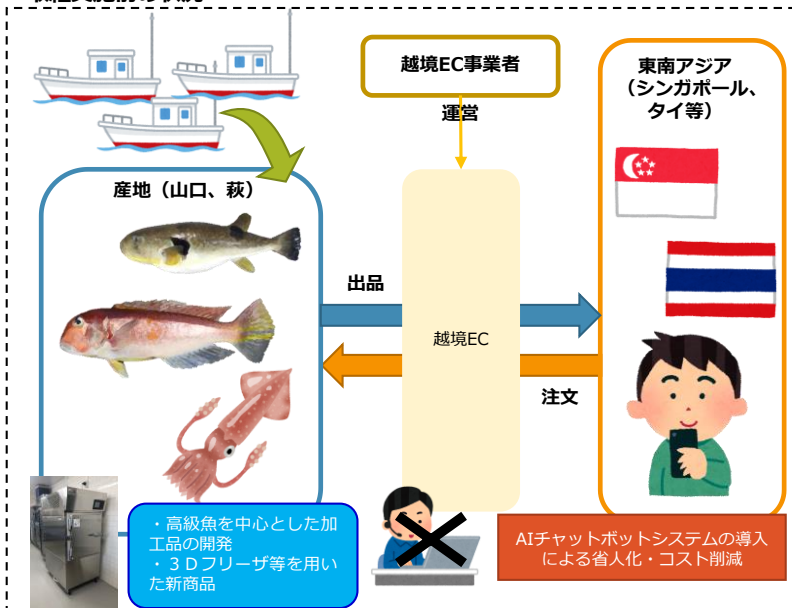
輸出

◆越境ECを活用した水産加工品の輸出展開

- ✓ 越境EC事業者との連携➡越境EC事業者を活用し、国内で商品を売り渡すことで作業を簡素化し、**商品開発に注力できる環境を整備**
- ✓ 輸出先国企業との連携による販路開拓➡既に海外に販売拠点を持つ日本企業等との連携により、手間を掛けず**安定的に商品を販売できるルートを構築**
- ✓ 独自の輸出ルートの開拓➡海外輸出が軌道に乗った段階で、独自の輸出ルートの開拓に着手し、現地企業と直接輸出入に関する手続きを行うことで、より**利益率の高い輸出モデルを構築**

山口県秋市産水産物の東南アジア向け輸出

■取組実施前の状況



■取組の現状と今後の展望

- 浜値の安い時期に凍結したマフグ等を輸出し、高付加価値化を実現。
- AIチャットボットシステムの実用化に向けて検討を進めている。

★本取組によって得られたバリュー★

付加価値向上

越境ECを活用した水産加工品の輸出展開

システム構築

IT技術・AIを活用した効率化とコスト削減

商品開発

輸出を想定した新商品の企画・開発